

今年もまたありがたいことに涅槃托鉢を勤めることができます。春もすぐそこ。鈴を鳴らし、読経しながら、弟子と共に一軒一軒、托鉢修行。私共もあなた様も共々に修行です。浄財のご喜捨をいただくと、「財法二施 功德無量 檀波羅蜜 具足円満」と唱え、深々と問訊。この托鉢のチラシ、ご一読下さい。生きる上でのご参考になれば、ありがたい。

「生まれてくること」ができた それは当たり前じゃない、すごいこと
お母さんががんばった でももつとがんばったのはあなただったのだから自信と誇りを持っていい これから先、いろいろな事があるかもしれませんが、でも心配しなくても大丈夫 たとえ、どんな苦境に立たされても
「生きようとする力」を持ち具えているのですから 忘れないで欲しい(中略)
ほんとうに「生まれてきてくれてありがとう」

誕生は何一つ選ぶことができない、無条件で、100%お与えの中で「うおんぎゃー」と産まれてきました。親も子供を子供も親を、この顔も、性別も、この場所や時代もすべて選べなかった。(私どもの曹洞宗の道元禪師は「願ってこの娑婆世界に生まれてきた」と教えておられます) 選ぶことができない代わりに、「生きようとする力」、どんなことがあっても大丈夫という力が、いのちが、与えられました。

出産時、ずっとお母さんに守られていたのが、いきなりチューブから絞り出されるように出てくる。酸欠状態、温度差、雑菌がいっぱいなどで、赤ちゃんのストレスは大変。しかし不思議に、それらの環境の中でみごとに困難を乗り越えていきます。お母さんも同様で、大いなる力によって大変な出産を乗り越えていきます。

赤ちゃんが歩くようになるには、一年も悪戦苦闘して、がんばって辛抱して、やっと歩けます。話すことでもそうです。困難や苦労や大変な思いをして、漸く歩けたり話せたりします。マイナスをプラスに変えていくすばらしい力が、みんな備わっています。生椎茸ですとだしの味はあまり出ませんが、天日干しをしたり、少し火にあぶったりして苦労させれば、いい味が出ます。

お釈迦様は生老病死、この四つが一番の苦しみである。「苦」とは肉体的な苦しみもありますが、自分の思う通りならないこと。生まれることも、老いること(生き続けること)も、病になることも、死ぬことも、肝心なことはみんな自分の思うようにはなりません。宿命です。しかしその中でどう生きるかは自分の自由(運命)です。生きることは、代わってもらえないし、代わってやれない事実も確かなり。

今は科学技術の進歩や文明の利器のお蔭で、スイッチひとつで自分の思うようになることがいっぱいあります。感謝です。だが、私どもはそのことに慣れてしまい、「なんでも自分の思う通りになるんだ」と思うところに、現代の大きな落とし穴があるように思います。

「生まれてきてくれてありがとう」は「あなたが生まれてきてくれて、お母さんうれしいなあ」という意味です。言い換えれば「あなたは必要とされています」と。人はこの時に幸せを感じ、大きな力を発揮していきます。自分で獲得する幸せよりも、人様からいただく幸せのほうがより大きいものです。

老人施設に行く機会があります。入所者の方々に最後にお話することは、「何か介助してもらったら、どうぞその方に感謝の気持ちを持って下さい。言葉で、お顔で、目で、身体で、合掌でもいいです。何かの手段で感謝の気持ちを是非、伝えて下さい。そのことで相手の方はうれしいという喜びをもらいます。『大変な仕事だけれど、がんばっていいこう』と、生き甲斐を感じて下さいますよ、きつと」

「為すこと無うして空しく死せば、後に悔あることを致さん」(『仏遺教経』)

※三月十五日(日) 午前十一時より、ねはん会・お話・おとぎ どうぞおまいり下さい

涅槃の図 みな泣いていて あたたかし 「久昌寺坐禅会」毎週土曜日 夜七時～九時 どなたでも